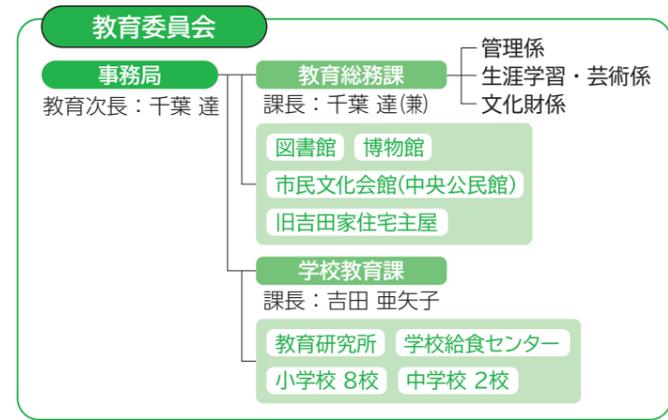
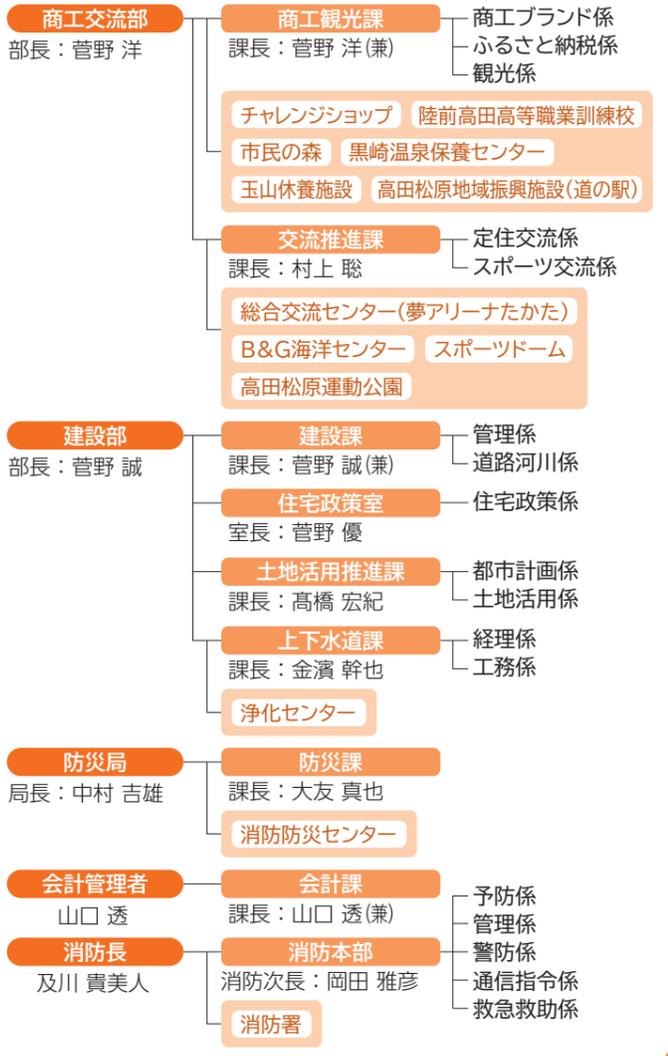
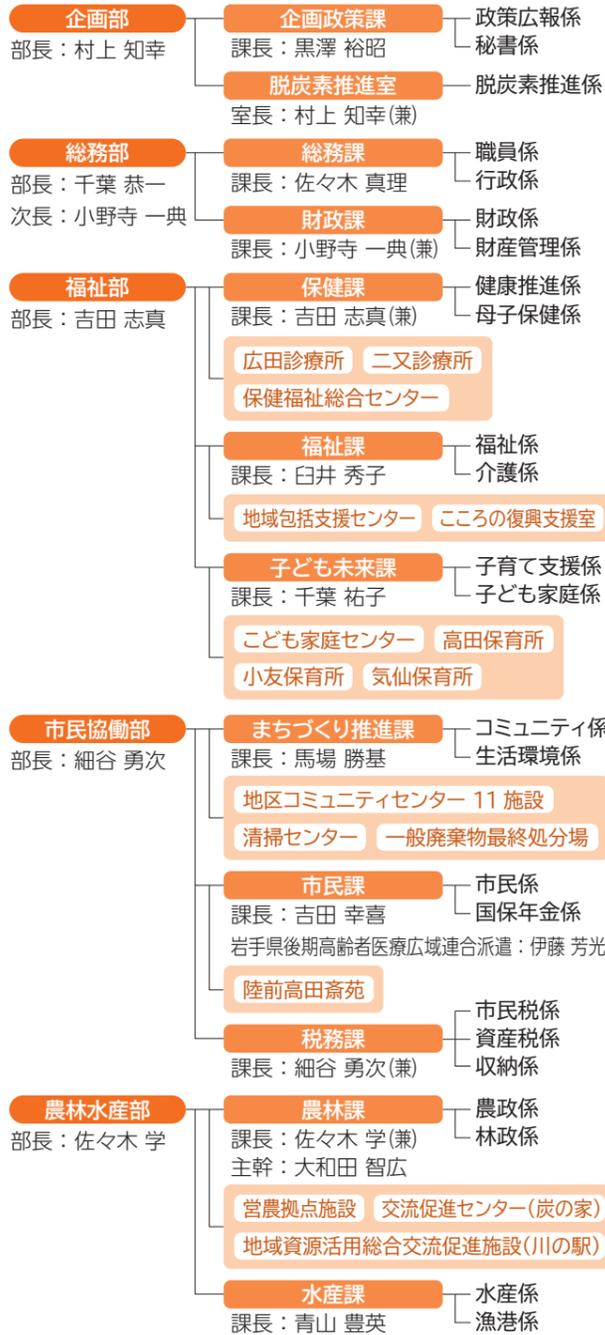


4月1日からの市の組織体制を以下のとおりお知らせします。

議会 事務局 局長：熊谷 重昭

市長部局



- 選挙管理委員会 事務局 局長：千葉 恭一(兼)
- 監査委員 事務局 局長：阿部 景子
- 農業委員会 事務局 局長：菅野 泰浩(兼 市長部局参事)
- 固定資産評価審査委員会

市民課と税務課の受付窓口を一本化しています

市民課および税務課に関する窓口を一本化し、市民課の窓口で受付を行っています。税に関する証明書の申請、納付相談など、税務課へのご用件で来庁した場合も、まずは市民課の窓口にお越しください。市民課窓口にてご用件を伺い、申請方法や担当などをご案内します。

問い合わせ先 市役所市民課市民係(内線133・134)

問い合わせ先 市役所総務課職員係(内線 311)



教育行政方針

学びを通じ、未来を創造する、心豊かでたくましい人づくり



全文はこちらから

1 自ら考え、判断し、たくましく生き抜いていく力の育成

学力向上に向けては「子どもを主語にした授業改善」を掲げ、「主体的・対話的で深い学び」を通して、思考力や表現力の定着を図ります。また、ICT端末の効果的な活用やオンライン学習による指導の充実を進めるとともに、中学校部活動の地域連携・地域展開を推進し、地域の中における新たな活動の場の創出や環境整備に力を入れていきます。防災教育については、15年間の歩みを地域の財産として次世代へ確実に引き継ぐための系統的な指導を推進してまいります。

2 一人ひとりを大切にしながら学校教育の推進

増加傾向にある不登校への対応を重点課題とし、中

3 行政、学校、家庭、地域が一体となった教育の推進

「学校を核とした地域づくり」を目指す「地域学校協働活動」をさらに活発化させ、地域全体で子どもたちの成長を支える体制に取り組んでまいります。また、家庭教育の向上に向けては、保護者のニーズや社会の変化に応じた「家庭教育学級」などの学びを支援し、関係機関などと連携し

5 生涯学習を通じた地域共生社会の実現

令和7年度から生涯学習施策を教育委員会に集約し実施していることから、社会教育と学校教育が一体となった施策を推進します。芸術文化活動の推進や郷土芸能の活性化、情報拠点施設としての図

4 安全・安心な教育環境の整備

少子化に伴う児童生徒数の減少に対応するため、小中学校のあり方検討委員会や地域懇談会を継続し、存続や統合を含めたこれからのあり方について検討を重ねてまいります。学校施設については、建築後40年を超える校舎もあることから、老朽化対策を進めるにあたっては緊急度、優先度を考慮して修繕を行い、中長期的な視点を持った計画的な維持管理を図ってまいります。

6 価値ある歴史・伝統・文化の充実と次世代への継承

文化財基礎調査の結果を活用し、地域の特色を生かした「文化財保存活用地域計画」の策定に向けた具体的検討を進めてまいります。また、日本遺産の重点支援地域に認定された「みちのくGOLD浪漫」や、復旧が完了した旧吉田家住宅を軸に、国内外への情報発信と文化観光を強化します。また、空き校舎などを活用した美術品展示施設の整備検討を進め、郷土ゆかりの芸術作品を地域活性化の一助として活用するため、よりよい施設づくりを展開してまいります。